令和６年度
学校推薦型選抜
（理学院，生命理工学院）

学 生 募 集 要 項

出 願 期 間	令和５年１２月１８日（月）～ １２月２０日（水）
合格者発表日	令和６年　２月１３日（火）
入学手続日 （締切）	令和６年　２月１９日（月）

東京工業大学は東京医科歯科大学と令和６（2024）年度の秋に統合し，東京科学大学（仮称）となる予定です。
なお，統合日以前に入学した学生は，統合日前日までは現大学の学生ですが，統合日に全学生が新大学の学生になります。

東京工業大学
Tokyo Institute of Technology

目　　次

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

・　入学希望者へのメッセージ＜誰も見たことのない未来をつくりだせ＞
・＜学士課程＞入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
・　各学院が求める人材像
・　東工大教育ポリシー
・　女子枠設置に託した思い

Ⅰ　学校推薦型選抜で求める学生像　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

Ⅱ　募集人員・募集方法　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

Ⅲ　出願資格　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

Ⅳ　推薦要件等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6

Ⅴ　選抜における注意事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7

Ⅵ　出願手続　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7

Ⅶ　推薦書記載事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０

Ⅷ　選抜方法　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１

Ⅸ　合格者発表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１

Ⅹ　入学手続等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２

Ⅺ　感染症予防・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２

Ⅻ　入試情報　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２

XIII 個人情報の取扱い　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２

XIV 学生生活　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３

入学希望者へのメッセージ

誰も見たことのない未来をつくりだせ

世界はいまだ謎に満ち，課題にあふれています。生命はいかにして誕生したのか。人工知能は医療を，経済を，社会を，どう変えるのか。病に伏した人をどう癒すのか。宗教間の対立は止むことはなく，エネルギー問題も重くのしかかっています。一朝一夕には答えの見いだせないこうした謎や課題をめぐって，いまこの瞬間も，世界中の科学者や技術者，その他各分野の専門家たちが，その叡智をかけて議論しあっています。真理の探究と幸せの追求をかけた人類のあくなき挑戦。その壮大な歩みに，あなたは仲間入りしようとしています。

1881 年に創立されて以来，時代を切り拓くフロントランナーとして，理工系総合大学としての使命を担ってきた東京工業大学。目指すのは，科学技術の強い基盤を持ちながら，従来の“理系”の枠を超え出ること。なぜなら，どんなに高度で専門的な知識でも，ただそれを持っているだけでは，わくわくするような発見や発明に出会うことも，困難な問題を解決に導くことも，決してできないからです。だからこそ，本学の門を叩こうとするあなたには，以下のような心構えを持ってのぞんでほしい。“理系”の枠に安住しない人を，本学は求めています。

①高い志を持ってほしい

これからの時代，ただ引かれたレールに乗っかっていくだけ，ただ自分の専門に没頭するだけでは通用しません。あなたは将来，何を為したいのか。社会に，どんな貢献をしたいのか。高い志を持ち，それを育てる人であってほしい。その志にかたちを与えるのが科学技術です。東工大は，志をかたちにしようとする人を支えます。失敗をおそれず挑戦し，すすんで学ぶ人を歓迎します。

②多角的な視点を持ってほしい

常識や「空気」にとらわれた思考では，新しい発想は生まれません。自分の強みを持ちつつ，幅広い分野に興味を広げ，専門の異なる人や文化の異なる人とも協働できる柔軟な姿勢を持って，世界にはばたいてほしい。ものごとを多角的にとらえる視点からこそ，「そんな考え方もあったのか！」と人々を驚かせるアイディアは生まれます。人と人，知と知を結びつけようとする人を本学は求めます。

さあ，誰も見たことのない未来を，ともに作り出していきましょう。気概あるみずみずしい知性と出会えることを，期待しています。

〈学士課程〉入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

・求める人材像　科学技術への知的好奇心や探究心と社会に貢献したいという志を有し，その基本的概念や基礎知識とそれを活用できる力を身に付けた人材を求めます。

・求 め る 力

専門力	理数系分野に関する基本的概念や基礎知識
教養力	社会に関する基礎的知識と語学力
コミュニケーション力	自らの考えを具体的に表現できる力
展開力	論理的に思考して自らの知識を活用できる力

各学院が求める人材像

【理学院】
理学院学士課程では，幅広い教育と自由な発想に基づいた研究を通じて，社会や文化の発展に広く貢献することを目指しています。そのために次のような学生を求めます。
・自然界の仕組みについて深く知りたいという強い好奇心を持つ人
・教わるだけでなく，自ら主体的に学ぶことができる人
・自分の意見を持ち，他者と議論することができる人
・十分な学力と表現力を持つ人

【工学院】
工学院学士課程では，人の生活を豊かで快適なものとするための工学的知識・技術を習得し，さらにそれらを進化させるための研究活動の基本を身につけます。そのために，次のような人材を求めます。
・工学的知識・技術を活かして人類と社会の発展に貢献しようという高い志を有する人
・自らの能力向上のために積極的に学ぶ意欲をもつ人
・工学を学ぶために，理数系科目を中心とする確実な基礎学力を身につけた人
・論理的思考力を有し，他者と意思疎通できる基本的なコミュニケーション力を備えた人

【物質理工学院】
物質理工学院学士課程では，材料科学及び応用化学に関する確かな基礎学力と明快な論理的思考力を持ち，環境調和型社会の発展に貢献できる人材を養成します。そこで，次のような学生を求めます。
・自然科学の幅広い分野について基礎学力を有し，柔軟な発想ができる人
・材料や応用化学に関係する諸現象について積極的に学習する意欲がある人

【情報理工学院】
情報理工学院学士課程では，よりよい情報化社会を築くために必要となる情報理工学に関する幅広い知識と柔軟で広い視野を持った人材の育成を目指します。そのために，次のような資質と能力を持つ人材を求めます。
・数学や理科に関する十分な基礎学力を有する人
・数理科学に興味を持ち，コンピュータの仕組みや活用法に興味を持つ人
・情報理工学の知見を活かし情報化社会の発展に貢献したいという志を有する人

【生命理工学院】
生命理工学院学士課程では，理工系の基礎知識と生命理工学分野の基礎的専門知識を修得し，生命理工学に関連した科学・技術の発展に資する課題解決力と倫理観を養います。そこで，本学院では次のような人材を求めます。
・自然科学の基本的な概念や考え方を身に付け，応用できる力を有している人
・論理的に思考し，集中してものごとに取り組むことができる人
・生命理工学の専門教育で必要となる基礎的な語学力を有している人
・生命現象を探究し，科学・技術の発展に貢献する意欲を有している人

【環境・社会理工学院】
環境・社会理工学院学士課程では，人類と社会の持続的発展に貢献するために理工学的叡智に加えて人文社会科学的叡智を広く環境や社会に応用・展開して卓越した学術・技術を創生するとともに，高い知性と豊かな教養，国際的な広い視野と深い思考能力を備え，科学・技術の専門家として社会で活躍できる人材を養成する。そこで，本学院では特に次の能力と適性を持つ人材を求めます。
・理数系分野に関する基本的概念や確実な基礎知識を持つ人
・学士課程の専門力を身につけるため必要となる基礎的な語学力を持つ人
・自らの能力向上のため主体的に理工学分野ならびに人文社会科学分野について学ぶ意欲を持つ人
・人類と社会の持続的発展に貢献しようという高い志を持つ人

東工大教育ポリシー

本学では，以下に記載している「教育目標」と「養成する人材像」を掲げるとともに，全学及び各系で「卒業認定・学位授与の方針（ディグリー･ポリシー)」,「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム･ポリシー)」,「入学者受入れの方針（アドミッション･ポリシー)」を定め，教育ポリシーとして位置づけています。

・教 育 目 標

知的好奇心に端を発した学術研究は新たな技術と産業を生み，不可能を次々と可能にし，現代社会を築いてきました。
現在も，真理の探究と知の継承及び発展に加えて，持続可能な社会に導く革新的科学技術の創出が求められ，世界最高水準の研究とともに教育に対する期待がますます高まっています。
それに応えるべく，本学では，

・確かな専門力
・豊かな教養力
・柔軟なコミュニケーション力
・以上の修得した知識や技能等を統合し活用できる多様な展開力

を身に付け，「挑戦し続けるフロントランナー」として困難に立ち向かう気概と倫理観をもって，より良い社会を築くことができる人材を養成します。
そのために，世界最高水準の研究の中に学生を招き入れ，学生が自ら学び考える教育を実施します。

・養成する人材像

確かな専門力，豊かな教養力，柔軟なコミュニケーション力，多様な展開力を身に付け，科学技術を基盤としてより良い社会を築くことができる，「挑戦し続けるフロントランナー」を養成します。

≪学士課程≫　「科学技術を基盤として自ら学び考えることができる人材」
学士課程では，基盤的な専門力，並びに，幅広い教養，そして，論理的に表現できる力を身に付け，倫理観と未知の世界に挑戦する意志をもって，自ら学び考えて物事に取り組むことができる人材を養成します。

女子枠設置に託した思い

本学は，さまざまな背景や価値観，属性をもった受験生を広く受け入れ，多様性のもつ力を生かして，これまでなかった「もの」や「こと」を生み出し，社会に新しい価値や夢を提供するとともに，さまざまな社会や分野でありたい未来の実現に向けて活躍できる理工系人材を輩出することを目指しています。この目標に向けて，誰もが隔てなく，学び，働ける場を創造し，知的活力にあふれた環境のもと，本学の目的及び使命である文化の進展及び人類の福祉への貢献を目指し，ダイバーシティ&インクルージョン※1を強力に推進することを宣言しています。

日本は今後，高齢社会，地球温暖化，環境問題等による社会の急速な変容や，多くの課題に直面すると予想されます。その時代には科学技術の重要性が，現在よりも一層高まることは明白です。これらの課題を解決し，日本社会，さらには世界が持続的に発展し続けるためには，今まで以上に多様な視点をもった広い分野の専門家がその力を結集すること，すなわち，ダイバーシティ&インクルージョンが必要不可欠です。

本学は，ダイバーシティ&インクルージョンを進める取り組みとして，多様な学生が安心して学生生活を送れるように，地方出身者向け，ファーストジェネレーション※2向け，女子学生向けなどの各種奨学金制度の創設や，日本人学生と外国人学生の混住型寮・女子寮の開設など，環境整備を進めています。

さらに，女子学生の比率が長年にわたり低い状態が続いている現状を打破するために，ダイバーシティ&インクルージョンの新たな取り組みとして入試改革に着手し，令和６年度から総合型選抜及び学校推薦型選抜に女子枠を導入することを決断しました。この選抜では，基本的な学力の評価に加えて，各学院が多様な視点から，受験生の個性を尊重し，その潜在力を発掘することに主眼を置いた選抜を行います。入学後は一定規模の女子学生がいる環境のなかでジェンダー※3等のさまざまな違いを超えて，それぞれが十分に能力を伸ばせる学びの場を提供することで，多様な人材の育成を目指します。この施策は，本学の学生が，性別にかかわらず自分らしく学生生活を送れるようになるまで継続します。

この女子枠の創設により，本学の学修環境を理想的なものに近づけるとともに，より多くの女性科学者・技術者を社会のさまざまな分野に輩出するという使命に応えていきます。これを起点に波紋が広がり，本学だけでなく社会全体に，真に多様性を推進する環境が育つことを期待します。

受験生のみなさん，本学が強みとする世界でも最高峰の教育・研究環境の中で，多様な文化や知性をもつ教員・学生と一緒に自分の可能性をとことん追求しませんか。そして，若い英知を結集して，みなさんの手で，ありたい未来社会を描いてみませんか。

※１：ダイバーシティ&インクルージョン：個々人が持つ外的（性別，人種，年齢等），内的（ライフスタイル，価値観等）な違いにかかわらず，それぞれの個を尊重し，多様性を認め合い，良いところを受け入れて生かすこと

※２：ファーストジェネレーション：家族の中で初めて大学に進学する世代のこと。本学では，大隅良典記念奨学金に親が４年制の大学を卒業していない方を対象とした枠を設けている

※３：ジェンダー：生物的性差に基づき定められた社会的・文化的性差

Ⅰ．学校推薦型選抜で求める学生像

１．理学院

幅広い教育と自由な発想に基づいた研究を通じて，社会や文化の発展に広く貢献することを目指しています。このために次のような学生を求めています。

（１）自然界の仕組みについて深く知りたいという強い好奇心を持つ人
（２）教わるだけでなく，自ら主体的に学ぶことができる人
（３）自分の意見を持ち，他者と議論することができる人
（４）十分な学力と表現力を持つ人

２．生命理工学院

生命現象の仕組みを読み解き，工学応用する道を切り拓くことにより，人類共通の知的基盤形成に貢献するとともに，その成果を高い倫理観をもって社会に還元する人材を養成します。

このために次のような学生を求めています。

（１）生命現象の仕組みを読み解く観察力と好奇心にあふれている人
（２）生命現象をバイオテクノロジーに発展させる挑戦力のある人
（３）固定観念にとらわれず，常に新たな視点で考えられる人
（４）コミュニケーション能力に優れた豊かな表現力のある人

Ⅱ．募集人員・募集方法

１．募集人員

学院	系 ※1	募集人員 ※2	
		一般枠 ※3	女子枠 ※4
理学院	数学系	８人	
	物理学系		
	化学系		
	地球惑星科学系		
生命理工学院	生命理工学系	１５人	１５人

※１　「系」欄は２年目以降で所属可能な系を示しています。
※２　選考の結果，期待する水準に達した者が少なく，合格者数が募集人員に満たない場合は，その欠員は一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。
※３　性別によらずに出願できる入試区分を「一般枠」と称します。
※４　戸籍上の性別が「女性」である者が出願できる入試区分を「女子枠」（生命理工学院のみ）と称します。

２．募集方法

（１）全ての志願者は，希望する１つの学院のみに出願可能です。
（２）女性の志願者は，一般枠と女子枠の併願が可能です（生命理工学院のみ）。インターネット出願登録時に「一般枠のみ志願」，「女子枠のみ志願」，「一般枠と女子枠の併願」のいずれか一つを選択して入力してください。
（３）合格した場合には，入学することを確約してください。

Ⅲ．出願資格

次の各号のいずれかに該当し，また，学校長が責任をもって推薦でき，合格した場合には必ず入学することを確約できる者とします。ただし，女子枠（生命理工学院のみ）への推薦についてはこれらに加え，戸籍上の性別が「女性」であることを出願資格とします。

１.高等学校又は中等教育学校を令和６年３月卒業見込みの者
２.通常の課程による１２年の学校教育を令和６年３月修了見込みの者

Ⅳ．推薦要件等

１．推薦人員

（１）学校長が同一の生徒を推薦できるのは，一つの学院に限ります。

（２）理学院に学校長が推薦できる人数は２人までですが，理学院の推薦要件③により推薦する場合はその人数に含みません。

（３）生命理工学院に学校長が推薦できる人数は２人までです。

２．推薦要件

学院	推薦要件
理学院	理学における高い能力を示す以下の①，②，③のいずれかに該当し，学校長が責任をもって推薦でき，合格した場合には必ず入学することを確約できる者。 ①正規の授業科目の一環として実施した課題研究（理学及びそれに関連した内容に限る）で主導的な役割を果たし，優れた成果を挙げてそれをとりまとめて発表した者 ・課題研究の例１．SSH の課題研究で○○○に関する研究を行い，全国または地域の研究交流会等で発表。 ・課題研究の例２．卒業研究として○○○に関する研究を行い，校内で発表。 ・課題研究の例３．総合学習で行った研究成果を大学主催や地区の研究交流会等で発表。 ②課外活動において理学に関連した研究を行って優れた成果を挙げ（主導的な役割を果たしたことが必要），それをとりまとめて校外の参加者を含む学校内外で発表したことを客観的に示す資料を提出できる者 ・課外活動の例１．○○部のクラブ活動で２年間継続して研究を実施し，校外の参加者も含む学校内外で開催の研究会，研究交流会等で発表。 ・課外活動の例２．夏休みに１０日間継続して△△で野外調査を実施し，校外の参加者も含む学校内外での研究会，研究交流会等で発表。 ③数学，物理，化学，地学のいずれかの国際科学オリンピックに日本代表として出場した者，又は国際科学オリンピックの国内予選に相当する地区大会等で優秀な成績を収めた者 上記の①及び②における「優れた成果」とは，学校内で現在及び過去の生徒との比較において優れていると学校長が認定できるものを指します。
生命理工学院	以下の①，②，③の全てに該当し，学校長が責任をもって推薦でき，合格した場合には必ず入学することを確約できる者。 ①生命理工学院に対する明確な志望理由と学修の熱意を有し，学習成績・人物ともに特に優れる者 ②高等学校等での正規授業科目として「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数Ⅲ」，「数学Ａ」，「数学Ｂ」の全てを履修している者 ③高等学校等での正規授業科目として「生物」，「物理」，「化学」のうち２科目以上を履修している者

Ⅴ．選抜における注意事項

１．入学辞退

学校推薦型選抜の合格者の入学辞退は認められません。ただし，特別な事情により本学に入学することができなくなった場合においてのみ，推薦を行った学校長からの「推薦入学辞退願」（様式任意，受験番号，氏名，具体的な辞退事由を必ず記載）を，本学入試課に提出し，辞退の許可を得てください。

提出期限は，書留・速達で令和６年２月１６日（金）必着とします。なお，やむを得ず期限までの提出が難しい場合は令和６年２月１９日（月）１２：００までに，メールにてその旨を連絡してください。

受理された者は，本学又は他の国公立大学等の一般選抜を受験することが認められます。

２．学校推薦型選抜出願者の一般選抜への出願

本学の学校推薦型選抜出願者は，本学又は他の国公立大学等の一般選抜に出願することができます。ただし，本学学校推薦型選抜に合格した場合，本学の一般選抜を受験することはできません。

その場合は，一般選抜の検定料のうち１３，０００円を返還しますので，一般選抜のインターネット出願サイトの「申込確認」よりマイページにログインし，返還手続きをしてください。

また，本学学校推薦型選抜に合格した場合，他の国公立大学の一般選抜を受験しても合格の対象とはならないので注意してください。（上記，**１．入学辞退**により辞退届を受理された者を除きます。）

３．その他の注意事項

・本学の総合型選抜と本学の学校推薦型選抜の併願はできません。
・実施方法等について変更がある場合は，「高校生・受験生向けサイト」で公表します。

Ⅵ．出願手続

１．出願期間※

令和５年１２月１８日（月）～１２月２０日（水）（１２月２０日　出願書類等必着 ）

２．出願方法

出願完了には，下記①～⑤のすべての手続が必要です。インターネット出願登録期間及び入学検定料納入期間中に，インターネット出願の登録と入学検定料の納入を済ませ，なおかつ出願書類受理期間中に出願書類が本学に到着していなければなりません。

なお，インターネット出願サイトでの登録は，令和５年１２月１５日（金）午前９時から可能です。

①インターネットによる出願情報の登録

本学「高校生・受験生向けサイト」からインターネット出願サイトにアクセスし，画面の指示に従って出願情報を登録してください。

②顔写真データのアップロード

③入学検定料（１７，０００円）の支払い

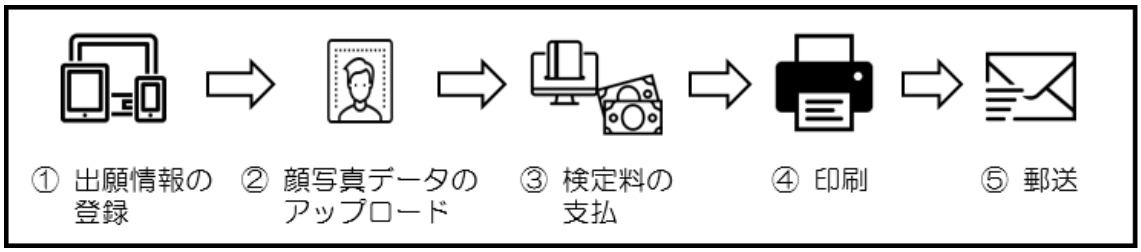
入学検定料の他に，サービス利用料として別途７００円が必要です。支払い方法の詳細については，インターネット出願サイトを参照してください。

④出願書類等の印刷

⑤出願書類等の郵送

「書留・速達」で郵送してください。本学へ持参しての出願は認めません。なお，出願書類の到着有無に関する問い合わせには一切応じません。各自，書留の受領証に記載されている引受番号を用いて，郵便追跡システムで確認してください。

※インターネット出願で登録を済ませ，検定料等の支払いを完了しても，出願書類一式が出願期間内に本学へ到着しない場合は，出願は受理されません。



３．出願書類等

（１）インターネット出願サイトから印刷するもの

入学志願票	出願登録後，申込確認ページよりＡ４サイズでカラー印刷し，提出してください。 入学志願票は，入学検定料等の支払い及び顔写真のアップロードが完了しないと印刷できません。
宛名ラベル	出願登録後，申込確認ページよりＡ４サイズでカラー印刷したものを郵送用の封筒に貼り付けてください。封筒は，市販の角形２号封筒（240㎜×332㎜）を使用し，「**書留・速達**」で郵送してください。なお，２枚目のチェックリストを同封して送付する必要はありません。

（２）インターネット出願サイトでアップロード作業が必要なもの

顔写真データ	出願登録後，登録完了メールに記載されているURLから，志願者本人の顔写真データをアップロードしてください。 志願者本人であることを判別できるもので，カラー・上半身・脱帽・正面向き・無背景・出願前３ヶ月以内に撮影した100KB～５MBのJPG又はPNG形式のデータを使用してください。

（３）その他必要書類

①全学院共通

大学入学共通テスト成績請求票	大学入試センターから交付された**令和６共通テスト成績請求票**のうち， **『推 薦　国公立学校推薦型選抜用』**を**（１）入学志願票**の所定欄に貼ってください。
調査書	学校長が発行した調査書（厳封されたもの）を提出してください。
☆推薦書	学校長が作成した推薦書（厳封されたもの）を提出してください。

②理学院のみ必要書類

	推薦要件	提出物	記載内容※
☆研究内容要約	①	課題研究の内容の要約 （課題研究用）	・課題研究の内容の要約 ・添付資料及びその簡単な説明（２点以内）
	②	課外活動における研究の内容の要約 （課外活動用）	・課外活動における研究の内容の要約 ・添付資料及びその簡単な説明（２点以内）
	③	作成不要	

※添付資料（図や写真及びそれらの説明等）は合計でＡ４片面４ページ以内としてください。

③生命理工学院のみ必要書類

☆志望理由書	「推薦書」に研究に関する記載がある場合は，指定する欄に，研究内容も志願者本人が記載してください。
☆学修計画書	「女子枠」又は「一般枠と女子枠」に出願する場合，「目指すキャリア」と入学後に身に付けたい学修内容を，志願者本人が記載してください。

④該当者のみ必要書類

在留カード	日本国籍を有しない者は，在留カードの両面の写し（在留期間満了日前であれば外国人登録証明書でも可）又は，国籍及び在留資格を確認できるもの（パスポートの写し，在日公館の証明書等）を提出してください。

（４）出願時の注意事項

・☆が付いている資料（推薦書，研究内容要約，志望理由書，学修計画書）の様式は，本学「高校生・受験生向けサイト」の以下のウェブページより，該当する書式をダウンロードして作成してください。
〔学校推薦型選抜〕https://admissions.titech.ac.jp/admissions/admission/admission/recommendation

・出願後の提出書類の内容変更は認めません。また，印字後は修正できませんので，誤りが無いように，十分注意し入力してください。特に，**氏名**，**生年月日**，**メールアドレス**を誤って入力した場合，マイページにログインできなくなり，最初から入力し直しになる場合がありますので，注意してください。

・出願書類等について，虚偽の申請，不正等の事実が判明した場合，合格等を取り消すことがあります。

・出願書類は，いかなる理由があっても返還しません。

（５）入学検定料

【基本事項】

・入学検定料１７，０００円及びサービス利用料７００円を支払いください。支払い方法の詳細については，インターネット出願サイトを参照してください。

・入学志願票は，入学検定料等の支払い及び顔写真のアップロードが完了しないと印刷できません。

・入学検定料は，コンビニエンスストア，銀行ＡＴＭ（Pay-easy での支払），クレジットカード（VISA，MasterCard，JCB，AMERICANEXPRESS，Diners Club）及びネットバンキングのいずれかの支払い方法を利用できます。

【注意事項】

・銀行窓口での支払いはできません。

・コンビニエンスストアに設置されている銀行ＡＴＭでの支払いはできません。

・クレジットカード及びネットバンキングの名義は，志願者と同一である必要はありません。
（保護者名義でも支払いが可能です。）

・一度納入した入学検定料は，出願書類受理後は，いかなる理由があっても返還しません。

【検定料免除】

・入学を希望する者又は主たる家計支持者が居住する地域の自然災害によりり災し，災害救助法（昭和 22 年法律第 118 号）の適用を入学願書の提出時に受けており，検定料の納付が著しく困難であると認められる場合には，入学検定料を免除することがあります。

・下記のような場合に免除となりますが，詳しくは出願期間前に入試課まで問い合わせてください。
①主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊，大規模半壊，半壊，流出した場合。
②主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合。

Ⅶ. 推薦書記載事項（学校長による記載）

学院	推薦書記載事項
理学院	**１．推薦要件① 推薦書（課題研究用）** ・課題研究を行った科目名（総合的な学習等の一部として行った場合も含む） ・当該課題研究が特に優れていると判断される理由 ・グループで研究を行った場合は志願者の果たした役割を明示すること ・学業や人物に関する所見 **２．推薦要件② 推薦書（課外活動用）** ・課外活動で行った研究の題目 ・当該課外活動における研究が特に優れていると判断される理由 ・グループで研究を行った場合は志願者の果たした役割を明示すること ・学業や人物に関する所見 **３．推薦要件③ 推薦書（国際科学オリンピック又はその国内予選相当の大会の出場者用）** ・出場した国際科学オリンピック又はその国内予選に相当する大会について （名称・開催年月・開催場所，入賞記録等の成績の詳細） ・学業や人物に関する所見 ・添付資料及びその簡単な説明（２点以内）（国際科学オリンピック又はその国内予選に相当する大会における入賞記録等，収めた成績を証明する書類のコピーを含む） ※添付資料（図や写真及びそれらの説明等）は合計でＡ４片面４ページ以内とします。
生命理工学院	・３か年にわたる各学年での学年全体での成績順位（何人中何人）を記入してください。 順位を決定していない場合は，全体での順位がわかる具体的な内容を記載してください。 ・【学校推薦型選抜について】と【志願者の条件】に照らして，志願者が推薦にふさわしい理由を記載してください。また，以下１から３に該当する特記事項があれば合わせて記載してください。 １．正規の授業科目の一環として実施した課題研究（数学・理科に関連した内容に限る。）で主導的な役割を果たし，優れた成果を挙げてそれをとりまとめて発表した者 ２．課外活動において実施した研究（数学・理科に関連した内容に限る）で主導的な役割を果たし，優れた成果を挙げ，それをとりまとめて校外の参加者を含む学校内外で発表したことを客観的に示す資料を提出できる者 ３．国際科学オリンピック等に日本代表として出場した者，又は国際科学オリンピックの国内予選に相当する地区大会等で優秀な成績を収めた者 ※上記１及び２における「優れた成果」とは，学校内で現在及び過去の生徒との比較において優れていると学校長が認定できるものを指します。

Ⅷ．選抜方法

・入学者の選抜は，共通テストの成績，推薦書，調査書及び各学院が指定する提出書類によって行います。
・一般枠と女子枠を併願する場合，各枠で判定した結果，両方合格であれば女子枠としての合格とします（生命理工学院のみ）。

１．各学院の選抜方法

学院	一般枠	女子枠
理学院	個別学力検査を免除し，大学入学共通テスト（以下「共通テスト」という。）の成績，推薦書，研究内容の要約並びに，調査書の内容のうち学業成績及び推薦理由に関する部分を総合的に評価し，合格者を決定します。	
生命理工学院	個別学力検査を免除し，共通テストの成績，推薦書，調査書及び志望理由書の内容を総合的に評価し，合格者を決定します。	個別学力検査を免除し，共通テストの成績，推薦書，調査書，志望理由書及び学修計画書の内容を総合的に評価し，合格者を決定します。

２．受験を要する共通テストの教科・科目

・志願者は，以下に示す本学が指定する教科・科目を全て受験してください。
・なお，指定された教科・科目を１つでも受験しない場合は，合格の対象とはなりません。

教　　科	科　　目
国　　語	「国語」
地理歴史，公　民※	「世界史Ｂ」，「日本史Ｂ」，「地理Ｂ」，「現代社会」，「倫理，政治・経済」から１科目
数　　学	「数学Ⅰ・数学Ａ」，「数学Ⅱ・数学Ｂ」の２科目
理　　科	「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から２科目
外 国 語	「英語(リスニングを含む)」，「ドイツ語」，「フランス語」，「中国語」，「韓国語」から１科目

※「地理歴史，公民」において，指定した科目数を超えて受験した場合には第１解答科目の得点を用います。ただし第１解答科目が本学が指定した科目でない場合には，合格の対象とはなりません。（この場合の第１解答科目とは，「地理歴史，公民」の試験時間に２科目を受験した場合において，前半の６０分間で解答した科目のことをいいます。）

３．共通テストの各教科配点

	一般枠						女子枠					
	国語	地歴，公民	数学	理科	外国語	合計	国語	地歴，公民	数学	理科	外国語	合計
理学院	200	100	200	200	200※	900						
生命理工学院	200	100	200	200	200※	900	200	100	200	200	200※	900

※ 外国語科目として「英語」を選択した場合，200 点の内訳は「リーディング」100 点，「リスニング」100 点とします。なお，「英語」を選択し，「リスニング」を免除された者は，「リーディング」の配点 100 点を 200 点に換算した得点とします。

Ⅸ．合格者発表

・令和６年２月１３日（火）１７：００頃に「高校生・受験生向けサイト」に掲載します。
　また，合格者発表と同時に合格者に対して，合格通知書及び入学手続関係書類を発送します。
・合否に関しての電話・メール等による問い合わせには一切応じません。

Ⅹ．入学手続等

・入学手続は郵送のみで行います。２月１９日（月）必着とし，必要書類を書留・速達により郵送してください。詳細な手続事項は，合格者発表日に郵送する入学手続関係書類を参照してください。
・なお，手続きに際して，以下（１）及び（２）の支払いが発生しますので，準備をお願いします。

（１）入学料（２８２，０００円（予定））

・所定の払込取扱票を用い，金融機関窓口で納付してください。入学手続書類が届かなかった等の理由により期日までに入学料を払い込めなかった場合，メールにてその旨を連絡してください。

（２）授業料（前学期分・後学期分各３１７，７００円（年額６３５，４００円）（予定））

・納付は，前学期分５月末まで，後学期分１１月末までとなっています。納付期限の変更が行われた場合，その都度本学ウェブサイトに掲載します。入学後，口座振替での納付となりますので，本学より郵送する案内に基づき，手続を行ってください。やむを得ず口座振替での納付ができない場合は，払込取扱票による振込も可能です。
・授業料は希望により,前学期分の納付の際に後学期分も合わせた年額を納付することができます。
・在学中に授業料改定が行われた場合，在学生に適用する授業料額については，その都度公示します。
・その他各種保険等（３０，０００円程度）の諸経費が発生する可能性があります。
※入学料・授業料減免を希望する者は,「XIV．２入学料・授業料減免」を参照してください。

XI．感染症予防

・出身国により予防接種状況が異なる背景や，本学の感染症に対するリスク管理の観点から，入学者選抜試験に合格した入学予定の留学生（日本国内の他大学，高等専門学校及び日本語学校等出身の留学生を含む。）は，入学前の３か月以内に医療機関で医師が作成した健康診断書を，原則入学前までに提出してください。詳細は本学ウェブサイトの下記 URL を参照してください。

［留学生の感染症対策］
https://www.titech.ac.jp/student-support/students/health/international

XII．入試情報

１．出願状況等

・本学「高校生・受験生向けサイト」に志願者数を１２月下旬，合格者数等の資料を令和６年４月以降掲載予定です。

XIII．個人情報の取扱い

・出願書類に記載の情報は，入試及び学務関連業務のみに使用します。個人情報の取扱いは以下のとおりになります。

１．出願にあたり知り得た個人情報については，①入学者選抜業務，②入学手続業務，③授業料徴収に関する業務を行うためにに利用することとします。
２．出願にあたり知り得た個人情報及び入学者選抜の試験成績は，入学者のみ，①教務関係(学籍，修学指導等)，②学生支援関係(健康管理，就職支援，授業料免除・奨学金申請等）の業務を行うために利用することとします。
３．入学者選抜の試験成績は，今後の入学者選抜方法等の検討に利用することがあります。
４．上記１～３の各種業務での利用にあたり，一部業務を本学より委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。委託にあたり，受託業者に対して，委託した業務を遂行するために必要となる限度で，個人情報の全部又は一部を提供することがあります。
５．国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため，氏名，受験番号，共通テストの受験番号，合否及び入学手続に関する個人情報を，大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達します。

XIV. 学生生活

１．高等教育の修学支援新制度

高等学校在学中に日本学生支援機構に予約採用申込手続きを行い，給付奨学金採用候補者に決定した者は，支援区分に応じて入学料及び授業料の全額又は一部が免除され，給付型の奨学金を受給できる場合があります。これを高等教育の修学支援新制度と呼びます。採用候補者に決定した場合でも，大学入学後に所定の手続きを行わなければ支援は得られません。また，日本学生支援機構には授業料等減免を伴わない貸与奨学金の制度もあります。

応募資格等制度の詳細や本学での手続きについては，以下のサイトを確認してください。

〔文部科学省　高等教育の修学支援新制度〕
https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm

〔日本学生支援機構 奨学金〕
https://www.jasso.go.jp/shogakukin/index.html

〔東京工業大学 高等教育の修学支援新制度〕（給付奨学金と授業料減免）
https://www.titech.ac.jp/student-support/students/tuition/new-system

〔東京工業大学 日本学生支援機構奨学金　採用方法と募集時期〕（貸与奨学金）
https://www.titech.ac.jp/student-support/students/tuition/jasso/selection

具体的な手続や締切スケジュール等については，合格した際に交付される関係書類でお知らせしますが，入学手続時から，段階をおって申請することとなります。

２．入学料・授業料減免（授業料等減免）

上記１．のとおり，高等教育の修学支援新制度により，日本学生支援機構の給付奨学生に採用され，かつ，入学料・授業料等の減免申請をした者については，選考のうえ採用されると，入学料・授業料等が減免（軽減又は免除）されます。

なお、高等学校在学中に申請しなかった場合でも大学入学後にも申請期間を設けています。応募資格等制度の詳細や本学での手続きについては，上記１のサイトを確認してください。

３．入学後の住居

本学には，新入生が入居できる学生寮や大学提携寮があります。それぞれの寮は，所在地，築年数，居室形態，月額寮費料などが異なっています。入居希望者は，本学ウェブサイトにより，概要を確認の上，応募してください。なお，受験日程によっては合格発表より前に応募締め切りとなりますので，注意してください。

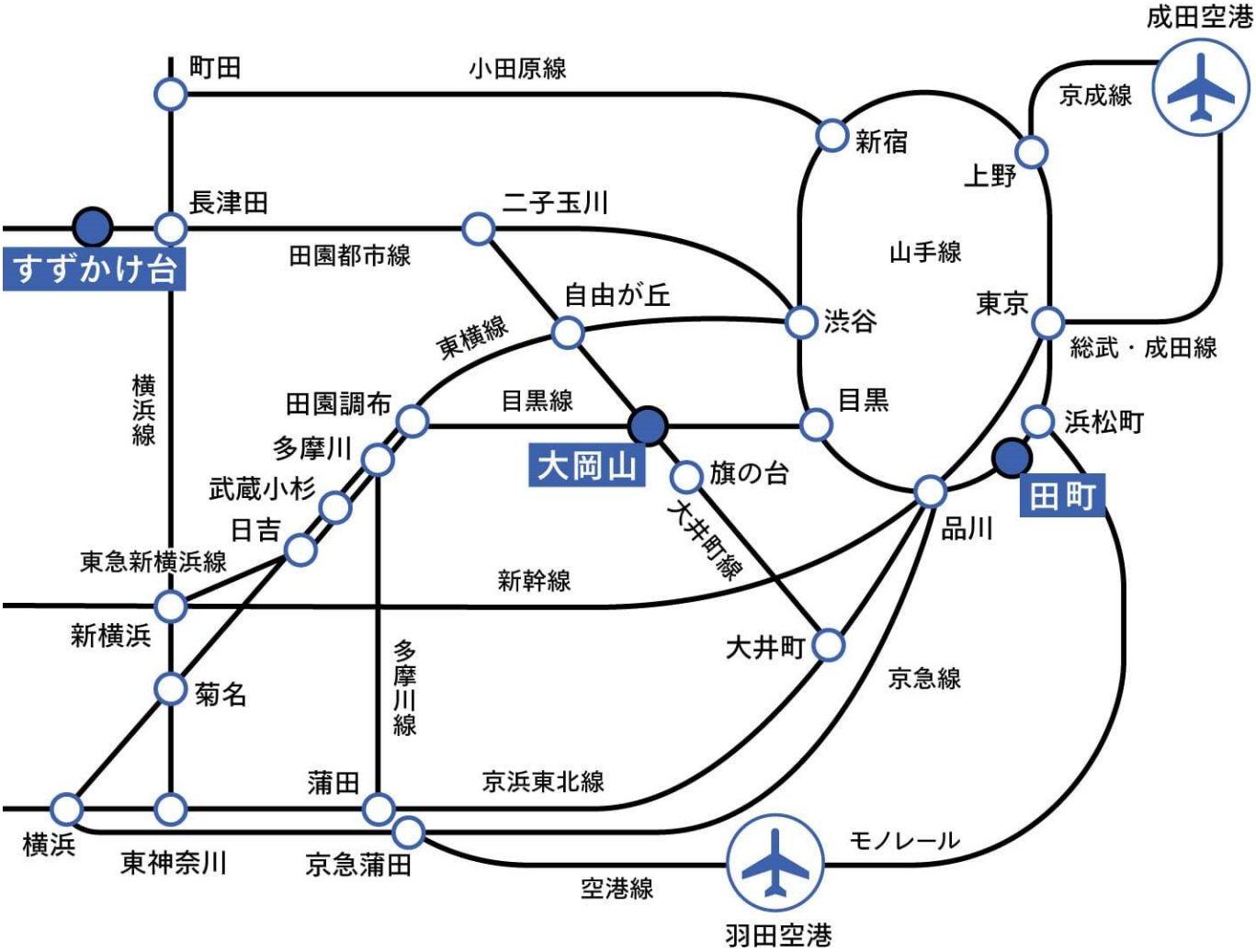
〔学生寮・住まい〕
https://www.titech.ac.jp/student-support/students/dormitories-and-accommodations

※問い合わせは志願者本人が行うこと

東京工業大学　学務部入試課
〒152-8550　東京都目黒区大岡山 2-12-１-W8-103
TEL (03)5734-3990 (平日 9:00～17:15 (12:15～13:15 を除く))
E-mail　nyu.gak@jim.titech.ac.jp

※入試に関する最新情報等

東京工業大学ウェブサイト　https://www.titech.ac.jp/
高校生・受験生向けサイト　https://admissions.titech.ac.jp/

MAP

- 大岡山キャンパス　東急大井町線・目黒線(大岡山駅下車徒歩1分)
- すずかけ台キャンパス　東急田園都市線(すずかけ台駅下車徒歩5分)
- 田町キャンパス　JR山手線・京浜東北線(田町駅下車徒歩2分)